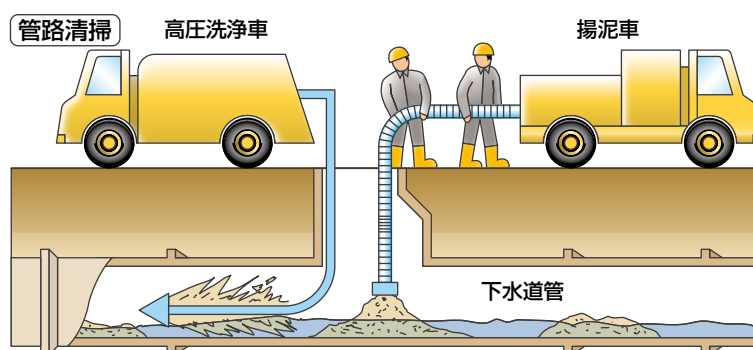


管路施設の点検・調査、清掃、修繕



カメラ調査による異常箇所の画像



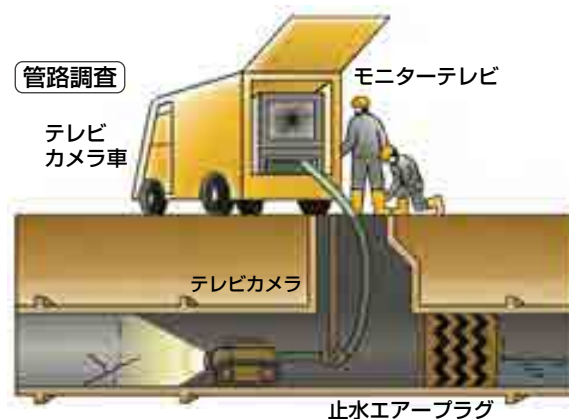
破損



木の根の侵入

一日も休むことができない下水道の機能を維持するために、下水道管やマンホールなどを、計画的に点検・調査し、施設の状態を適切に把握しています。

また、機能を維持し延命化を図るために、沈殿物の清掃、破損箇所の修繕を行っています。



マンホール修繕工事の様子



管路施設の情報管理

管路施設に係る埋設情報や管路調査情報等は、下水道台帳管理システムにより管理しており、管路施設の維持管理業務に活用しています。このシステムにある埋設情報は、下水道河川局庁舎1階の閲覧室に設置されているパソコンや札幌市のホームページで公開しており、市民の方等がいつでも簡単に閲覧することができます。



下水道河川局庁舎1階閲覧室



ホームページの閲覧サービス

札幌市 下水道台帳

検索



水再生プラザやポンプ場、スラッジセンターなどの処理施設は重要な市民生活を支えるライフラインの一部であり、24時間365日休まず稼働しています。それぞれの施設においては、安定した処理を継続するために常に中央操作室での機器の操作・監視、水質監視システムや水質分析による処理状況の確認を行うとともに、処理機能が低下したり、止まったりすることがないように、計画的に設備を点検し、整備・修繕を行っています。

施設の運転管理

ポンプ場

ポンプ場は昼夜問わず排出される下水を速やかに水再生プラザへ送る役割や、大雨時に道路の雨水ますから下水道管に流れてくる大量の雨水をすばやく河川へ放流する役割等を有しています。

ポンプ場が正しく稼働しないと、汚水を流せなくなるほか、大雨時に街が浸水するなどの被害が発生することになります。このため、日々の確実なポンプの運転と、設備の定期的な点検・整備によって、ポンプ場の機能を維持しています。なお、札幌市では、全16カ所のポンプ場を無人化し、水再生プラザから監視する体制としています。

水再生プラザ

水再生プラザでは、絶え間なく流入する下水をきれいに処理し、河川へ放流しています。水再生プラザが正しく稼働しないと、汚れた水がそのまま河川へ放流され、環境に悪影響を与えることになります。このため、流入水や放流水の検査、施設の保守・点検及び監視を行い、安定した処理を維持しています。

スラッジセンター

スラッジセンターでは、水再生プラザで汚れを除去した後に発生する污泥から水分を取り除き、焼却することで污泥の減量・安定化を行っています。

スラッジセンターが正しく稼働しないと、水再生プラザでの下水処理にも影響を及ぼしてしまうため、日々安定した処理を継続することが不可欠です。



24時間体制の運転管理



水質の分析



設備の点検・整備

施設の機能維持・延命化

札幌市の処理施設は、昭和40年代から50年代にかけて集中的に整備を行ってきたため、今後、本格的な大更新時代を迎えることになりますが、限られた財源の中で効率的に施設の維持管理を行い、その処理機能を維持していく必要があります。

そのため、従来の応急的修繕から、予防保全的な修繕*の考え方を積極的に取り入れ、できる限り施設や設備の延命化を図ることで安定的な下水処理機能の維持に努めていきます。

※予防保全的な修繕・・・機械等が壊れた後に修繕する事後保全に対し、定期的な点検調査の結果から、故障や異常の発生する前ぶれを察知して行う修繕のこと